

## 石原小学校の貼り絵

熊谷市立石原小学校第25代校長

関根達郎

### 1 卒業生を送る会に貼り絵以外の方法を

石原小学校では、卒業生を送る会に向けて全校児童がモザイクのように色紙を貼り合わせて大きな壁画を作っています。2号棟と3号棟の通路や学校の西側の壁に歴代の貼り絵が飾られています。1月から2月にかけて全校児童の中から下絵を公募して児童会で選定し大きな紙に下絵を描いて各クラスに分配して一生懸命に貼ります。そして完成した壁画は卒業生を送る会で発表していました。令和2年度はコロナ禍で貼り絵作成は最も密になる活動だったので中止しました。貼り絵はできないけれど「何かで卒業生に気持ちを伝えることができないか？」と考えて昨年は動画や別の方法が行われました。先生方も子供たちも考えて新しい方法を考えました。今では全校集会や朝会も ZOOM で行うようになりました。

### 2 卒業生を送る会に貼り絵を

石原小学校の貼り絵が始まったのは1993年1月です。当時私は集会委員会の担当をしていました。そして5年生の担任でした。5年生の集会委員の児童となにか卒業生を送る会で全校みんなのできることはないかと考えました。当時集会委員会は月1回の集会を行っていました。5月と言えば「石原小学校誕生日集会」でした。



集会委員会は劇をやるのですが、劇と掲示物があったとにか大変でした。掲示物を作らないと盛り上がらないのでとにかく頑張っていました。当時5から6クラスあり人はたくさんいましたが、時間が足りなかったのです。そこで集会委員の子から「卒業生を送る会」は全校で作ったらどうかという意見がでました。私は、その前に勤めていた深谷南中学校で文化祭で作った貼り絵を思い出し、子供たちや先生方に提案しました。それはまあまあ大きなものでしたが4クラスで作ったので8分割くらいでした。石原で作るとする

と5クラス×5学年25枚の超大作になってしまいます。それでも当時各クラスに1枚模造紙大の紙を用意しようと言う話になりました。公募もそこで決めました。たくさんの公募の中から1枚を投票で決めました。そして色づけや下書きは先生方でやりました。図工の得意な若い先生が色を塗り特別活動の担当の先生が細かくいろを下書きしていきました。小さな下絵を大きな紙にうつすためにオーバーヘッドプロジェクターという今で言う液晶プロジェクターのような教育機器をつかって行いました。ようやく下絵ができあがり、各クラスにくばったものの紙が大きすぎて1枚仕上げるのに時間がかかります。特に1,2年生は大変でした。教室には細かい紙吹雪のような色紙があちこちにありました。色を混ぜて使います。例えば赤でもモザイクになるように赤とピンクを混ぜて使います。校舎の色も黄色と白を混ぜました。とにかく手間と時間がかかりました。それでも目標に向かって各クラスが競ってがんばりました。クラスによって色紙の大きさが違いました。几帳面な先生のクラスは小さな色紙、おおざっぱな先生のクラスは大きな色紙でした。貼り絵が完成してあつまるとそれは、クラスによってばらつきがありました。それはそれで味がありました。色がずれておかしいところは修正して巨大貼り絵は完成しました。高さはステージの天井までとどきました。完成作品を見たとき先生方も子供たちも充実感にあふれていました。



集会委員の子供と記念撮影しました。完成した第1回の貼り絵です。5年生の子のこのポーズはそのときの気持ちを表しています。このときは「これは大変だから今年だけにしよう」という話もでていました。

### 3 貼り絵の披露!

できた貼り絵はどのようにして発表しようか考えました。その結果ステージの幕をしめて6年生に大々的に発表しよう計画しました。6年生入場で幕が閉まっています。そして集会委員会の児童と「貼り絵の披露です」といって幕が開きました。会場は歓声に包まれました。6年生の送る会は盛り上がりました。両サイドの「6年生の送る会」の文字は委員会の子供たちが作りました。先生達も子供たちも苦労した貼り絵は全校の作品になりました。



各学年からの出し物が披露されて 6 年生に送る会は盛大に行われました。今から 28 年前のことです。その次の年も貼り絵は作られました。デザインは 1 回目の時より凝っていました。下絵も毎年変わりました。



第2回の貼り絵？



第3回？ 横長になった貼り絵

#### 4 新しい歴史を 新たな伝統を！

令和の時代になり、貼り絵をつくることは難しくなりました。しかし、新たな方法で気持ちを伝える教育活動を行うことができます。貼り絵は、1993 年の保護者のみなさんが小学生だった時代からの伝統でした。2019 年まで続けてくださったことに感謝します。石原小学校は 150 周年に向けて進みます。これから子供たちと共に心に残る教育活動を作っていきたいと思っています。コロナ禍でも常に考え、「人と人をつなぐものを全校で作り上げること」が石原小学校の伝統でありたいと願っています。